

## 【プラスアルファ法律学 模擬裁判】(木曜日 5 時限)

堀口 愛芽紗

### 講義のねらい

本講座では、刑事裁判と民事裁判の手続をシミュレーションを通じて学びます。「法を使う」ことに着眼点を当て、基礎から応用までを実践的に習得することを目指します。交渉や裁判外紛争解決手続 (ADR) 等も扱う予定です。また、適宜、近時の法に関する諸問題 (市民の司法参加等) を題材としたディスカッションを実施します。このような学習を通じて、法を多角的に捉える視点を養うことを目的としています。初めて学ぶ学生でも、実践を通じて法の仕組みや意義を理解し、主体的に学ぶことができる授業を展開します。

### 講義の内容・授業スケジュール

本講義は、参加型講義のため積極的に取り組むことが求められます。

#### 前期：刑事裁判編

- 第 1～4 回：刑事裁判の基本構造の習得 (起訴、審理、判決の流れ)
- 第 5～9 回：模擬刑事裁判に向けた準備 (事案分析)
- 第 10～14 回：模擬刑事裁判の実施と振り返り

#### 後期：民事裁判・ADR 編

- 第 1～4 回：交渉・調停の基礎の習得 (ケーススタディを用いた実践)
- 第 5～8 回：模擬調停・裁判の準備 (争点整理・法的主張の組み立て)
- 第 9～11 回：模擬民事裁判の実施と振り返り

※授業の進捗や状況に応じて、スケジュールは変更する場合があります。

※授業外の学習機会として、フィールドワーク (裁判傍聴・警視庁見学・裁判員ラウンジへの参加等) を実施する可能性があります。

### 教科書等

※必要な資料はその都度配布します。六法を持参してください。

#### 【参考書籍】

1. コリン, シール (2020=2023) 『法教育の教え方と学び方』 (太田勝造監訳, 堀口愛芽紗・大塩浩平訳) 弘文堂
2. 太田勝造・草野芳郎編著 (2013) 『ロースクール交渉学 (第 2 版)』 白桃書房
3. 飯考行編著 (2024) 『ディスカッション法と社会』 八千代出版
4. 司法研修所監修 (2009) 『刑事第一審公判手続の概要 (平成 21 年版) —参考記録に基づいて—』 法曹会
5. 司法研修所慣習 (2023) 『対話で進める争点整理』 法曹会
6. 四宮啓・城祐一郎・宮木康博 (2024) 『Practical Studies 刑事訴訟 この事件を裁くのはあなたです』 成文堂
7. レビン小林久子著 『調停者ハンドブック—調停の理念と技法』 信山社